

件名	墨田区の循環バスの見直しについて熟慮を求めることに関する陳情			
提出者 住所氏名	墨田区東駒形●●●●● ●● みんなに優しい公共交通の実現をめざす墨田の会 代表 ● ● ● ●			
受理年月日	令和8年1月30日	受理番号	第23号	
<p>要 旨</p> <p>1 見直しについては、情勢を考慮し十分な区民要望を汲むための説明の機会を再度設定するなどの措置を講じてください。</p> <p>2 運行の見直しや料金改定案に利用者の要望がどれほど反映されているかを示してください。また、料金改定については「他の交通機関との公平性の観点から」としていますが、料金だけでなくサービス面での公平性についても示してください。</p> <p>3 見直し決定後も、利用者の声を聞く機会（車内にアンケート用紙の配架等）を設けるなど利便性の向上に努めてください。</p> <p>（理 由）</p> <p>区内循環バス事業の見直しについては、昨年9月19日に開かれた墨田区議会地域産業都市委員会において報告され、その後区民説明会やパブリックコメントが実施されています。</p> <p>見直し案では①3つのルートの短縮（停留所の廃止を含む。）、②移動実態を踏まえた新ルートやバス停の設置、③一部双方向運行の効果検証の実施が示されたほか、運賃を現行の100円から150円又は200円にした場合の試算案が示されました。</p> <p>私たちは昨年開かれた説明会に参加し、利用者の願いの切実さに触れ、墨田区の見直し案との乖離を痛感しました。私たちが現在進めている署名行動は、見直しに当たって区民や利用者により利用しやすく、そして愛される区民のための「公共交通」の存続を願ってのことです。ルートの短縮等への失望の声、そして突然示された都営バス運賃並みの値上げ案には驚きさえ覚えました。この度、陳情書を提出するに至った第一の理由は、突然の解散総選挙による慌ただしさの中で十分に区民の要望を反映した制度設計が図られるか不安があるからです。第二には丁寧な説明が求められる事柄であるからです。</p> <p>以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>				